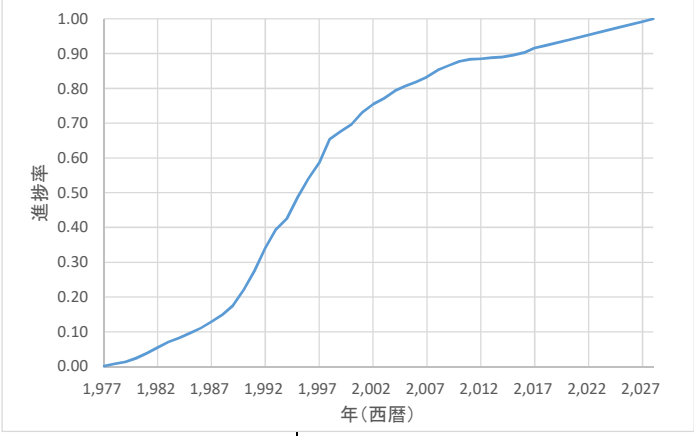


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H25	本庄江 河川整備交付金 事業(広域河川 改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=131億円 工期：S52～H30 改修延長：L=7,405m 事業内容：掘削・築堤・護岸、樋管19基、橋梁10基、堰2基、水門1基	下流部の流下能力確保のため、国道207号の新高橋より下流で、河道掘削を実施。 (H24末進捗率 88%) (年平均進捗率 2.4%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 500戸 浸水面積 520ha (地域の状況) 右岸側は県立病院好生館が移転し開業している。また、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路のインターが建設予定。 一方左岸側は、住宅宅地の民間開発が確実に進んできている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 (B/C) = 2.8	・再生材の積極的利用 ・発生残土を他事業(道路整備等)に有効利用	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H30	本庄江 河川整備交付金 事業(広域河川 改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=131億円 工期：S52～H40 改修延長：L=7,405m 事業内容：掘削・築堤・護岸、樋管19基、橋梁10基、堰2基、水門1基	今重橋付近(3.0k付近)まで、1/10(暫定)での整備が完了。 (H29末進捗率 92%) (年平均進捗率2.2%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 右岸側は県立病院好生館が移転し開業している。また、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路のインターが建設予定。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 (B/C) = 2.5	同上	再評価実施後5年が経過	平成2年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等			家屋連担地内での騒音・振動対策による工期の延長			前回再評価時と比較し、工期延長によりCが増大し、費用対効果(B/C)の減となった。			